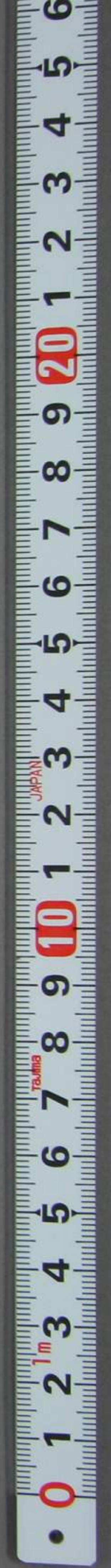


114
A 5193

報告第貳號

去月廿九日付報告第壹號ヲ發シタル後々本月五日ニ至
 ルマテ連日議員總代登嶺シ事務長及諸役員ニ謁シ辨論
 數回以テ上申ノ旨趣報告第壹號ニ記載シタル上申書ナリ貫徹センコトヲ懇囑ス
 然レモ故ラニ之ヲ壅蔽シテ法主ニ達セス且總代委員森
 亨總代委員ノ次點ニシテ昨學務課長三長察靜ナシテ係員
 タラシム因テ之ニ就キ論辨スルモ其言曖昧道辭百端毫
 モ正當ノ明解ヲ爲サス終ニ語塞リ言窮リテ内ニ入り而
 シテ上申書ヲ受理セス豈ニ奇怪ノ至リナラスヤ假令其
 言理アリトスルモ法主ニ宛タルノ書ヲ抑ヘ以テ進達セ
 サルノ理アラシヤ惟フニ彼レ此ノ正理ヲ抑壓シ以テ其
 非ヲ遂ント欲スルニ外ナラス嗚呼甚矣哉當路諸氏ノ其
 私ヲ營ムヤ上ニ法主ヲ誣誤シ下モ門末ヲ蔑如ス而シテ

壹



其顯要ノ職任ヲ瀆シ我本末ノ約束ヲ紊ス然リト雖モ事
若シ利害ニ關スルナク宗旨ノ体面ヲ傷クルナクハ我
等將ニ默止セントス而シテ今宗内ノ現状ヲ見ルニ教義
ハ振ハス學事ハ興ラス宗務理ヲス資財給カス寺法既ニ
亂レ僧律亦行ハレス偶々昨年十九號ノ官令アリ是レ千
歲ノ一遇實ニ宗風挽回ノ秋ナリ而シテ當路者其時運ヲ
計ラス其改良ヲ講セス終ニ管長ノ職權ヲ竊ミ五箇本山
ノ根基ヲ固フス本年三月五ヶ本山既ニ末寺ヲ視ルヲ耕田ノ
如ク僧侶ヲ偶スルヲ牛馬ノ如シ將サニ其膏血ヲ絞リ以
テ其本山ヲ肥サントス其レ此ノ如シ我門末豈ニ默止ス
ヘケンヤ是レ我輩門末各部總代ノ責ヲ領スルモノ謀々
セサルヲ得サル所以ナリ
於是先回報告シタルカ如ク在京議員ノ協議ニ依リ數項

ヲ決定シ本月廿一日ヨリ二週間ヲトシ議事局定期ノ大
會ヲ開カントス然ルニ各國議員中疾病事故ヲ以テ來會
セサルモノ尠シトセス之カ爲メ未タ開會スル能ハス實
ニ遺憾ノ極リナリ而シテ法主閣下ハ將サニ東上セラレ
ントス故ニ先ツ左ノ書ヲ進呈ス

御東上延期願

方今我本末間不穩之事情有之ニ付各國門末總代上京
追々上申候義モ可有之然ルニ閣下御儀明廿一日ヨリ
御東上ノ趣ニ候得共目下ノ事情ハ實ニ我本末ノ一大
事ニ付御東上暫時御延引相成度此段奉願候也

各部議員總代

明治十八年五月二十日

德山聖海印
外二名連署

法主養齋徹定殿

然ルニ法主閣下ハ願ノ趣難聞届旨指令シ翌廿一日發山
遂ニ東上セラレタリ嗚呼法主ノ用意亦頼ムニ足ラサル
ナリ然リト雖モ事空シク止ムヘカラス由之左ノ書ヲ呈
進シ其不審ノ件々ヲ質ス

本末間交渉事件ニ付質義之大約

第壹條

憲章第四條ニ曰ク本部ノ制度ニ關スル諸
法則ハ法主及議事局相合同シテ編成スト同第十條
ニ曰ク本部寺院ハ各部總代(即議員)ヲ差シ本部ノ制
度及其財政ヲ議ストアリ此文中本部トハ未タ宗務
一途ニ歸セサル間知恩院本末間ノ稱號ナリト雖モ
我本末間ハ本部約束ノ外ニ宗規ヲ奉セサルノ趣意
タルコトハ本部憲章及其實施則第一條同第二條ノ第

一項第二項ノ文意ニ依テ明カナリ而シテ本部ノ制
度トハ乃ケ本宗ノ制度ヲ指ス然ルニ乙酉第二號達
ニ曰フカ如ク宗制寺法ハ總別本山及檀林協議編成
可致トハ何等ノ理由ヨリ事此ニ及ヒタルヤ

第貳條

憲章第二十七條ニ依ルトキハ憲章及議事
局規則等八箇ノ法則ハ議事局ノ決議ヲ經サレハ變
更スルヲ得ストノ明文アリ然ルニ乙酉第二號達ノ
如キ議事局規則第二條同第三條ヲ左右シテ定期ノ
議會ヲ延期セラレタルハ何ソヤ

第參條

憲章第二十九條ニ曰ク法主ノ命令ト稱ス
ルモノハ上局ノ決定ヲ經タルモノニ限ルト而シテ
上局章程第壹條ノ但書ニ曰ク大會議決ニ抵觸スル
モノハ其議定ノ効ナシト然ルニ乙酉第二號達ノ如

キハ大會議決ナル議事局規則ニ牴觸スル事件ヲ議定シ之ヲ法主ノ命令トシテ本部寺院ニ布達セラレタルハ何ソヤ

第四條 憲章第三十五條ニ曰ク總代委員ハ任期滿二年トシ毎年其半數ヲ改撰ス但最初ノ一期ハ任期ニ拘ラス議事局ノ投票ニ依テ其半數ヲ解任ストアリ其他役員ノ任期ハ明治十六年大會議決甲號第二條第二項ニ於テ任期滿二年トシ毎年其半數ヲ改撰ストノ明文アリ而シテ毎年通常會ニ於テ其改撰ヲ執行スルコトハ議事局規則第五十九條ニ明ラカナリ然ルニ乙酉第二號達ヲ以テ定期ノ通常會ヲ延期セラレタルトキハ隨テ此等ノ議決モ變動スルモノナリ是又何等ノ意タルヲ解セス

第五條 理財法第一條ニ曰ク議事局ノ決定ヲ經サ

レハ課金又ハ義財ヲ賦スルコトヲ得ストアリ而シテ明治十七年通常會ニ於テハ乙第一號議決ノ如ク十七年五月ヨリ十八年四月マテノ課金徵收ヲ決セリ今ヤ本年通常會ヲ延期スルニ於テハ本年五月以後ノ宗務費教學費ヲ要セサルモノ歟若シ猶ホ之ヲ必要トスルトキハ後日ノ議決ヲ以テ既往ノ費用ヲ徵收スルヲ得ス然ラハ自今果シテ課金ヲ要セサルノ趣意ナリヤ

第六條 理財法第三條ニ曰ク宗政費教學費ヲ分タス定額ニ超過スルコトヲ得スト然ルニ昨年十九號ノ官令以來宗事ニ付法主及役員東京往復ノ事アリ又宗務所設置ノ事アリ此等ニ關スル費用ニ於テモ未

タ定額ヨリ超過スルコトナキヤ

第七條 理財法條外ニ曰ク出納取扱規則ハ上局ニ於テ修正スルモノト而シテ此規則ノ如キハ尤モ必要ナルモノニシテ其修正ハ一日モ等閑ニ付スヘカラサルモノナリ然ルニ昨年通常會後ニ於テ已ニ修正ナリシヤ

第八條 理財法第四條ニ曰ク本部ノ財政ハ知恩院會計局ニ關セスシテ取扱フコトヲ得スト而シテ本年五月七日付番外ヲ以テ法主ヨリ布達セラレタル保存會設置ノ事タルヤ其規則ヲ閱見スルニ一百万圓ノ講金ヲ集收スル條件アリ且仄ニ聞ク所ニ依レハ該會ノ名義ヲ以テ叨リニ負債ヲ起サルコト云フ而シテ該會ハ有志ノ發起ニ係ルノ由ナリト雖モ其規

則ノ末ニハ現ニ知恩院保存會ト明記シタル以上ハ己ニ我知恩院ノ公立ナルニ相違ナシ若シ公立ニアラストセハ我法主ヨリ之ヲ布達シテ本部寺院ニ遵行セシメラルノ理由ナカルヘシ然ルニ理財法ニ違反シテ此等ノ義財ヲ集收セラレハ何ソヤ

第九條 明治十七年通常會乙第三號議決憲章實施則第三條第四條及第六條中今日ニ至ル迄未タ實施ナラサル件アリ就中學制實施ノ如キハ最大ノ事件ナリ然ルニ何ヲ以テ今日マテ等閑ニ付セラレタリヤ第十條 同上乙第四號議決ニ於テ宗政改革ノ事ヲ議シ我本末ノ方向ヲ一定シタリ然ルニ乙酉第三號ヲ以テ達セラレタル本年四月一日付管長ノ令書甲第一號同第二號達ノ如キ結果ニ至タリシハ當ニ議

事局豫定ニ大差アルノミナラス實ニ宗門ノ一大不幸ナリ而シテ宗政改革案ニ明記セル二件トモニ履行ナラザリシハ何ソヤ

第十壹條 本年四月廿一日付番外ヲ以テ事務長虎岡覺眠ヨリ報セラレタル五ヶ本山定約ノ如キハ管長ヲ檢束シ宗務ヲ不便ニ歸セシメ又其費用支出ノ如キモ實ニ穩ナラス此定約タルヤ他山ハ知ラス我知恩院ニ於テハ議事局ノ豫定アルニモ係ラス敢テ此定約ヲ締盟セラレタルハ何ソヤ

第十二條 明治十七年通常會終結ノ后第十九號ノ官令アルニ依リ議事局ノ決定ニ於テ多少ノ關係アルハ論ヲ埃タサルナリ然リト雖モ其議決ハ我本末間ノ約束ナルヲ以テ擅ニ變更スヘカラサルハ世間ノ

法ニ依テモ然リ況ンヤ憲章第二十七條ノ明文アルニ於テチヤ而シテ右官令ノ影響ニ依リ大會議決ヲ修正セサルヲ得サルトキハ速ニ其順序ヲ經テ改正スヘシ然ルニ之レカ爲メ臨時會ヲ開カサルノミナラス四ヶ山合同ノ會議ヲモ延期セラレタルハ何等ノ意ソヤ今日法主ノ命令ヲ布達シテ我等寺院ニ遵行セシムノ權アルモ當路役員ノ其職ニ位シテ事務ヲ執行セラルモ又我等門末ノ課金義財ヲ出スモ皆ナ我本末間ノ約束ナル憲章及諸制規ニ據ラサルハナシ此ノ如キ重大ノ關係アル大會議ヲ恣ニ左右セラレタルハ何ソヤ

第十三條 去ル四月廿七日付テ以テ議員總代ノモノヨリ議事局通常會ノ儀ニ付上申シタルコトアルニ事

務所ノ庶務課ハ之ヲ壅蔽シテ上申ノ手次ヲ爲サ、
ルノミナラス同廿八日法主ノ命令ヲ僭シテ上申ノ
趣受理難致ト指令セリ此ノ如ク指令スルノ權ハ事
務長ト雖モ有セサル所ナリ而シテ此上申ノ趣ヲ裁
可スルト否トハ法主上局ノ訣議ニ依テ指令セラル
ヘキモノナリ然ルニ庶務課長村上慈彦ハ法主ノ職
權ヲ僭用シテ此ノ如クナルハ何ソヤ

第十四條 本月五日議員總代ノ者登山シ特撰係員ナ
ル森亨閣三長察靜ノ阿氏ニ謁シテ上申書ノ進達ヲ
請フニ或ハ總代ノ委任狀不完全ナルニ依リ進達シ
難シト云ヒ或ハ小部分ノ申立ナルヲ以テ採用シ難
シト云フ抑該上申ノ如キハ本利ニ於テ我本末間ノ
約束ヲ破却セラル、ニ付其理由ヲ辨明シ而シテ議

事局規則ニ依リ未登嶺ノ議員ヲ招喚セラレシトテ
請求シタルモノナリ是固ヨリ違約ノ恢復ヲ要ムル
モノナレハ假令我門末中一人ノ要求スルモノアル
モ之レニ應セラルヘキハ當然ナリ然ルニ小部分ノ
申立トシテ採用セラレサルハ何ソヤ

但委任狀不完全トハ隨自意ノ申分ナリ此方ニ於
テハ元ヨリ完全ナルモノト信ス

第十五條 本月十九日事務長虎岡覺眠ヨリ議員總代
ニ對シ一書ヲ贈リ先キニ議員總代ノ各地ニ發シタ
ル報告ヲ取消シ解散スヘシト報セラレタリ抑我等
議員ノ會同シタルヤ恣ニ來集スルニアラス乃チ法
ノ爲メ宗ノ爲メ又我本末ノ爲メニ己ムヲ得サルニ
出タルモノナリ而シテ本末間ノ約束ナル諸制規ニ

照シ乙酉第二號達ハ本末無効ナルモノト信スルヨ
リ議事局規則ヲ奉シテ來集シタルモノナリ然ルニ
乙酉第二號ノ爲メニ礙ヘラレ未タ來會セサルノ議
員ニ對シテ其旨趣ヲ辨明シ且來會ヲ促シタルモノ
ナリ然ルニ今事務長ヲシテ右令書ヲ贈ラシメラレ
タルハ何ソヤ
右質義ニ對シ相當ノ說明御開示相成度然ラサルニ於
テハ各自歸國ノ上部内寺院ニ對シ辨解ノ致方無之隨
テ各部總代ノ責任不相立義ニ付深ク御酌量至急何分
ノ御辨明有之度候也

各部議員總代

明治十八年五月廿二日

梅谷大英印
外六名連署

法主代理虎岡覺眠殿

然ルニ虎岡覺眠ハ右質義ニ對シ之レカ說明ヲ爲サ、ル
ノミナラス翌廿三日ニ至リ謂レナキ付箋ヲ爲シ事務長
ノ名義ヲ以テ之ヲ却下セリ依テ議員總代ハ其理由ヲ質
サント欲シ再三面謁ヲ請フト雖モ終ニ出テス因之更ニ
法主ノ親裁ヲ仰カント欲シ本書ヲ東京ノ所在ニ郵致ス
然リト雖モ到底相當ノ明解アルヲ信セス唯法主ナシテ
警悟スル所アラシメント欲スルノミ
此ノ如クニシテ我本末情交既ニ疎ク其約束將サニ破レ
ントス今ヤ本山ノ令行ハレス課金義財亦納ムルモノナ
シ而シテ其負債日ニ加ハリ其弊害月ニ生シ毀リテ他門
ニ受ケ耻ヲ江湖ニ曝ス今現ニ負債ノ爲メニ日トシテ法
庭ヲ蹈マサルナシト云豈ニ其維持久シキニ堪エンヤ其

危キヲ累卵モ啻ナラサルナリ是レ實ニ其非ヲ遂ケント
欲スルノ致ス所ト雖モ我等門末タルモノ此危急ニ際シ
坐視傍觀以テ二三ノ爲メニ宗祖ノ靈蹟ヲ氓滅セシム
ルニ忍ヒンヤ
又一步ヲ進メテ宗事ノ如何ヲ考フルニ彼管長撰定法及
五ヶ本山定約書ノ如ク管長ノ職權ヲ割キ宗務ヲ五個ニ
分テ以テ專ラ本山ヲ利シ末派ヲ壓制セント欲ス是ノ主
義ニ依テ制定セラル、宗制寺法ノ如何及教師任免住職
進退ノ方法如何ヲ想像スレハ悚然トシテ毛髮豎テ慨然
トシテ泣涕スルニ至ル何ソ宗侶ヲシテ之レニ服セシム
ルヲ得ンヤ必ス紛議駢論以テ制スヘカラサルニ至ラン
況ヤ學教振起ノ術宗風挽回ノ策何ソ講スルニ遑アラシヤ
既ニ辨スルカ如ク宗法ノ方向本山ノ形狀一トシテ黙止

スヘカラサルナリ而シテ我等議員ハ已ニ各部總代ノ責
ヲ領ス是ニ由テ部内寺院ニ代リ百折不撓千坐不屈以テ
本山ノ改良宗務ノ方針ヲ講セサルヘカラス依テ更ニ來
ル六月十五日ヲ會期トシ未登嶺議員ノ來會ヲ俟テ以テ
議事局大會議ヲ開カントス曩ニ報告シタルカ如ク各地
出張所長及組長ノ諸君ハ之ヲ議員ニ廻報シ其登嶺ヲ促
カサレ度若シ議員未定ナルトキハ速ニ其撰舉アラシ
テ希望ス
又議員諸君ハ前記ノ事情ヲ洞察シ開會期日マテニ必ス
登嶺アラシテ若シ實際疾病ニシテ來會スル能ハサ
ルトキハ其補缺員ヲシテ速ニ上京セシメラルヘシ
右ハ在京議員一同協議ヲ經テ報告ス
知恩山議事局

明治十八年五月廿八日

在京議員總代

京都府下

久世明山

長野縣下

山崎英幢

山口縣下

藤井心順

德島縣下

漆間達譽

廣島縣下

川上賢成

福岡縣下

行正神譽

滋賀縣下

吉水法玄

各地出張所長及組長御中

同在國議員御中

追告

一今回在京議員會合ノ便宜ヲ計リ知恩院山内源光院ヲ以テ議員集議所トス

報告第三號

方今宗事改進ノ時運ニ際シ學教振起ノ好機ニ乘シ身命ヲ擲テ肝腦ヲ碎キ妖雲ノ四塞ヲ攪破シ狂瀾ノ既倒ヲ挽回シ以テ舊來ノ陋習ヲ一洗シ以テ宗祖ノ鴻恩ニ報答セント欲スルハ實ニ我宗侶ノ本分ナリ況ンヤ我輩議員ノ如キ既ニ宗務ヲ議スルノ責ヲ領シ各部總代ノ任ヲ奉スルモノニ於テヤ依之我輩議員ハ先キニ報告第壹號(本年四月廿九日付)同第二號(本年五月廿八日付)ヲ發シ同緣諸君ノ睡魔ヲ驅逐シ各部議員ノ登嶺ヲ促シタリ且在京議員ハ各地ニ派出シ議員未登嶺ノ部内ニ就テ之カ協議ヲ爲セリ而シテ各國ヨリ其來會ヲ報スルモノ及ヒ在京議員ヲ併テ五十名ニ垂ントス故ニ今回ノ會同ニ於テハ吾宗務改良ノ緒ヲ開キ祖側一掃ノ功ヲ奏スルヤ必セリ

然ルニ當路ノ役員ハ猶ホ之ヲ沮マント欲シ事務長虎岡
覺眠ノ名義ヲ以テ左ノ諭達ヲ爲セリ

番外

本部出張所長及組長

方今當山議事局在京議員總代ト稱シ報告書ヲ發シ或
ハ門末集議所等ノ名義ヲ私稱シ又ハ遊說員ヲ派出セ
シメ門末僧侶ヲ煽動スル者有之何レモ時勢ノ變遷ヲ
不知單ニ本刹ノ名望ヲ害スル者ニツキ右等ノ私舉ニ
應スルカ如キ心得違無之様可致注意此段及諭達候也

明治十八年六月一日

事務長虎岡覺眠

右諭達ノ如キハ固ヨリ一笑柄ニ屬スヘキモノニシテ毫
モ其功アルニアラスト雖モ其文中何レモ時勢ノ變遷ヲ
不知單ニ本刹ノ名望ヲ害スル者ト云フニ至テハ尤モ奇
怪千萬ノ一言ナリ各國所長組長及議員ノ諸君ハ此等ノ

邪言ノ爲メニ疑惑ヲ生セラルヘキハ素ヨリ確信スル
所ナリト雖モ當路者ノ邪念ヲ攪破センカ爲メ一二ノ事
由ヲ左ニ記シ以テ一稔ヲ與フヘシ

第一時勢ノ變遷トハ抑何物ソヤ昨年大會議以後ニ於テ
我宗務上ニ變遷ヲ來シタルモノハ乃チ第十九號ノ官
令ナリ此官令タルヤ我輩ノ雀躍欣喜ノ舞ヒ足ノ踏
ヲ知ラサレ所ニシテ我法教ノ面目ヲ一洗シ我宗事ノ
改良ヲ促スモノナリ誰カ之ヲ知ラサランヤ誰カ之ヲ
望マサランヤ其改良其一洗宜ク次ヲ逐テ議スヘシ而
シテ其官令ヲ案スルニ管長ヲ定ムルノ法ハ宗制ニ由
テ一定シ其宗制ヲ定ムルハ開宗ノ主義ニ由ルヘシト
然ルニ我宗開創ノ主義タルヤ大師一世ノ行狀時々ノ
訓誡ニ由テ之ヲ考フルニ僧侶ニ尊卑ノ別ヲ立テス寺

院ニ品格ヲ定メス卓トシテ塵世ノ習ヲ脱シ肅トシ佛
制ニ則レリ嗚呼是レ吾大師不出世ノ智徳ヲ以テ早ク
以門閥爲賢以格例爲法ノ弊習ヲ看破シ給ヘルニ由ル
我大師開宗ノ本意已ニ此ノ如シ豈ニ本末寺格ナルモ
ノアラシヤ豈ニ本山固有ノ權ナルモノアラシヤ且本
宗ニ於テ本山ノ稱號アルハ中世以還ノ事ナリ而シテ
本山ノ分限ヲ定ムルハ實ニ大師ノ御遺制根本宗廟ヲ定
ムヘカヲサレ
勅修御傳第三十
七卷ニ明カナリ蓋シ本宗ノ僧侶ハ平等ニシテ
共ニ大師ノ門葉ナリ大小ノ寺院ハ同權ニシテ皆ナ布
教ノ道場ナリ今此平等衆中ニ於テ管長ヲ立テ法門ノ
主ヲ定メンニハ闔宗僧侶ノ投票ニ依リ學徳兼有ノ人
ヲ推撰スヘシ且其宗制寺法編成ノ如キハ闔宗會議ノ
公議ヲ採リ以テ其根據ヲ定ムルヲ至當ナリトス是レ

實ニ一宗ノ協和ヲ計ル所以ニシテ我開宗ノ主義ニ順
スルモノナリ然ルニ今當路者ノ議定スル所ヲ見ルニ
管長ハ僅ニ二三ノ寺院乃チ五箇本山ニ於テ之ヲ撰定
シ宗制寺法ハ本山檀林ニ於テ編成スト云ヘリ蓋シ其
意ノアル所ハ彼ノ管長ノ職權ヲ弄シ宗務ヲ五個ニ分
テ以テ專ラ本山ヲ利シ恣ニ末派ヲ壓抑セント欲スル
ニ外ナラス而シテ毫モ宗務ヲ改良スル念ナク弊習ヲ
一洗スルノ意ナシ今此ノ番外達ニ所謂時勢ノ變遷ヲ
知ラストハ我輩議員ノ事ニアラスシテ反テ當路者ノ
謂也

第二昨年第十九號ノ官令ニ依リ其宗務上ニ影響ヲ來タ
シタルハ已ニ前ニ辨シタルカ如シト雖モ我本末間ノ
約束ニ至テハ敢テ之ヲ本山ニ於テ破棄スルノ理由ナ

カルヘシ若シ其官令ヨリ影響シテ修正セサルヘカラ
サル條款アルトキハ速ニ臨時會ヲ開キ其公議ニ依テ
修正スヘシ今ヤ然ラス而シテ恣ニ之ヲ紊亂スルハ何
ソヤ且先キニ質義シタル十五條ノ如キハ必スシモ管
長ノ職務ニ關スル事ニアラス就中財理ノ如キハ一日
モ等閑ニ付スヘキ事ニアラス假令定期會ノ設ケナキ
モ臨時會ヲ開キ門末ノ公議ヲ探ルヘシ今ヤ又然ラス
シテ徒ヲニ姑息ノ計ヲ爲シ屢々耻ヲ江湖ニ呈シ日々
ニ訟廷ヲ煩ハスハ何ソヤ此等ノ事ハ皆ナ當路者ノ利
ヲ圖リ慾ニ隨フノ致ス所ナリ其番外達ニ所謂本山ノ
名望ヲ害スル者トハ亦タ當路者ノ謂ナリ
第三既ニ我當路ノ役員ハ時勢ノ變遷ヲ知ラス本利ノ名
望ヲ害シ且宗事ノ改進ヲ遮ルモノ此輩ヲシテ永ク宗

務ノ大權ヲ執ラシムルトキハ我宗ノ存亡通塞其何レ
ニ決スルヤ識者ヲ俟タスシテ明カナリ是レ則我輩議
員ノ血汗痛呼以テ諸君ト共ニ宗事ノ改良祖側ノ一洗
ヲ希圖スル所以ナリ然ルニ今其番外諭達ニ門末ヲ煽
動スル者ト云ヒ私舉ニ應スル勿レト云フ此奇怪ノ語
ヲ以テ我門末ノ宗事ニ暗キモノヲ瞞着シ而シテ自ラ
其惡ヲ蔽ヒ其非ヲ遂ケント欲スルモノナリ此等ノ事
實ハ諸君ノ既ニ知ル所ト雖モ果シテ本山ノ事情ニ暗
キモノハ爲メニ疑惑ヲ生スルナキヲ保セス若シ報告
第壹號同第貳號ニ就テ其由ル所ヲ察シ其來ル所ヲ明
カニセハ則チ可ナリ
右辨スル所ハ彼番外諭達ニ就テ其二三ノ邪言ヲ破シタ
ルニ過キス若シ今當路役員ノ毒ヲ我門末ニ與フルモノ

ヲ詳記セハ實ニ枚舉ニ違アラサルナリ然レモ事冗長ニ
流レ且其貶毀ニ涉ルヲ以テ今略シテ説カス
蓋シ我宗開創ノ昔ハ大師肝腦ヲ螢雪ニ碎破シ軀幹ヲ風
雨ニ暴露シ千辛此宗ヲ開キ萬苦此法ヲ傳フ入テハ玉冠
ニ灌キ出テハ道俗ヲ勸ム或ハ難ヲ山僧ニ被リ或ハ罪ヲ
南遷ニ受ク己ニ其度ヲ盡シ其化ヲ遷シテ茲ニ七百年而
シテ此間内ニ碩德高僧ノ嚴護アリ外ニ王公貴人ノ信仰
アリ宗光爲メニ輝キ法運爲メニ開ク今ヤ宗綱旣ニ廢リ
法基殆ント頽ク教ハ以テ道俗ヲ感化スル能ハス學ハ後
進ヲ養成スルニ足ラス僧風日ニ猥亂シ衆心月ニ離散ス旣
ニ其大本ヲ失シ徒ラニ其細事ヲ爭フ智者ハ見テ悲ミ愚
者ハ聞テ惑フ而シテ上ニ敢爲ノ人ナク下ニ蹶然ノ者ナ
シ偶々政府干涉ヲ緩フシ教家ノ自治ニ歸ス此ノ時ニ當

テ其改良ヲ講シ其挽回ヲ計ラスンハ將タ何レノ時ヲカ
埃タシ必スヤ挺然身ヲ起シ奮然義ヲ唱ヘ以テ事ニ此ニ
從ヒ以テ祖恩ニ報スヘシ然ルニ我當路ノ役員、優柔不
斷以テ其務ムヘキヲ務メス徒ラニ其位地ヲ同フシテ其
利ヲ圖ルニ汲々たり嗚呼我本末ノ不幸此ヨリ大ナルハ
ナシ嗚呼我宗門ノ危殆今日ヨリ甚シキハナシ豈ニ坐視
傍觀以テ他ニ依頼スルノ秋ナラシヤ若シ猶ホ今日其改
良ヲ講セスンハ數歳ノ後々世ニ淨土宗アルヲ見サルヘ
シ噫其我大師浴雨櫛風ノ功千辛萬苦ノ勞且サニ地ニ墮
ナ且サニ水泡ニ歸セントス豈ニ慨嘆ノ至リナラスヤ豈
ニ痛哭ノ極リナラスヤ今我輩率先以テ義ヲ唱フモノ固
ヨリ偶然ニアラサルナリ實ニ己ムヲ得サルニ出ルノミ
伏シテ冀クハ諸君之ヲ諒シ之ヲ察セヨ

更ニ乞フ未タ議員ヲ發遣セサルノ地ハ速ニ其來會ヲ促シ未タ上途セサルノ議員ハ先ツ其來會ヲ電報シ而シテ即日發途スヘシ若シ其路次遠隔ニシテ開會ノ期日マテニ到達スル能ハサルトキハ三四日ヲ後ルモ妨ケナシ惟タ今回ノ會議ニ於テハ一地方モ不參ナキヲ要ス庶幾クハ廣ク公議ヲ採リ以テ改良ノ本意ヲ達シ我宗光ヲ千歳ニ輝サントテ各國護法ノ諸君其之ヲ努力セヨ
右在京議員ノ協議ヲ經テ報告ス

知恩院議事局

在京議員總代

明治十八年六月五日

- 京都府下 久世明山
- 長野縣下 山崎英幢
- 山口縣下 藤井心順

- 德嶋縣下 漆間達譽
- 廣嶋縣下 川上賢成
- 福岡縣下 行正神譽
- 滋賀縣下 吉水法玄

各地出張所長及組長御中
同 在國議員御中

追告

一聞ク所ニ依レハ京坂寺院ノ名稱或ハ其他ノ名義ヲ以テ信書ヲ各地ニ發シ以テ議員ノ登嶺ヲ沮ムモノアリト云フ諸君幸ニ注意スル所アレ

